



9/12(土)~13(日)

完成内覧会を開催します。
お子様向けイベントもあります！
詳細は別紙をご確認ください。

TRETTIO

9.12 OPEN!

三和住建の住宅展示場に、新しいモデルハウス「TRETTIO」(トレットィオ)がオープンします。TRETTIOとは、スウェーデンの言葉で「30」という意味。30歳からの家づくりをさまざまな視点で提案する、新世代の家づくりにフィットした規格型住宅です。子育てしやすい家がいいけど、インテリアにもこだわりたい。TRETTIOは、新世代のマイホームへの想いにお応えします。

ライフステージを考えた家づくり
洗練された、こだわりのデザイン
家具まで選ぶ、オールインワン
一年中快適に暮らせる、高性能住宅

●TRETTIOは、スーパーウォール工法によって住宅建築を行う、全国規模のビルダー組織「スーパーウォールビルダーズファミリー」が企画・開発した規格住宅です。
●スーパーウォール工法は、株式会社LIXILが供給する“高気密・高断熱・高耐震”の住宅建築工法です。



たくさんのご来場ありがとうございました！ 7/25-26 イベントのご報告

強い日差しが照りつける猛暑の2日間でしたが、「新モデルハウス構造内覧会」「オリジナル・ジェルキャンドルを作ろう」「心理カウンセラーによる育児セミナー」のイベントにたくさんの方にお越しいただきました！心よりお礼申し上げます。ご参加いただいたみなさまの感想の一部をここでお伝えします。

構造内覧会



・建築途中に見られなかったところを今回再確認できて良かった。柱も他社物件よりも太く、安心感があります。(60代男性)
・建築中の家をゆっくり見る機会はないので、新モデルハウスを中から見ることができ、とても良かった。楽しく過ごせました。(40代男性)

ジェルキャンドルを作ろう



素敵なキャンドルがたくさん出来ました！

・子供の夏休みの自由工作として、とても楽しく豪華なキャンドルが出来ました。家族でキャンドルナイトを楽しみたいと思います。(40代女性)
・無料でできるということで来てみたが、クオリティが高くてびっくりした。(30代女性)
・キャンドル作りとても楽しかったです。丁寧に指導して頂き、楽しい時間を過ごすことができました。(40代女性)

心理カウンセラーによる育児セミナー

・笑いあり、とても楽しいお話の中に、本当にためになる子育てのヒントがたくさんありました。子ども達が自信を持って生きていけるよう、自分の接し方をもう一度振り返ってみなくては!!と思います。さっそく、もう少し過保護にしてみようと思います。(40代女性)
・都合で来ることのできなかつた家族に次回はぜひ参加させたいと思いました。子育てに関わっている家族としても非常に改めて勉強になりました。(60代女性)
・とても勉強になりました。特に、教育=背中を見せること、自信=他信につながる、という言葉が印象に残っています。子供にたくさんわがままさせてあげて、ちゃんと待ってあげられる母親になりたいと思います。(30代女性)



700人余りのカウンセリング実績をもとに語られた北沢公博先生による講演は、驚きと納得の連続でした。子供の望みを叶えてあげる「過保護」の育児と、一方で、親の都合で口を出したり、先回りして失敗を経験させない「過干渉」の育児。過保護で育った子供は、強い自信を持って育つそうです。先生の前向きな言葉に勇気づけられ励まされた参加者も多かったのではないのでしょうか。最初は少し緊張気味だった会場も、みるみる先生の話に引き込まれ、最後の質疑応答では多くの質問をいただきました。皆さまの子育てのお役に立てたなら幸いです。大好評につき、第二回目の開催を予定しておりますので、今回参加できなかった方も、お友達やお知り合いの方などお誘い合わせ頂き、是非お越し下さい。

普通救命講習を受講 安全大会 2015

7月31日に行われた三和住建安全大会では、建築現場で起こりうる事故やけがに迅速に対応するべく、東京防災救急協会様・町田消防署様の協力を得て、家づくりに関わる大工さんや職人さん、協力業者を対象に救急救命講習を受講しました。3時間に及ぶ講習の中で、心肺蘇生やAEDの使用法、止血法などを学びました。引き続き安全第一で施工してまいります。



老人のひとり言 ぽつぽつ...

最近、四季報に書くようなことが無く、ペンを持ったまま3時間考えてしまいました。数年前に書いたことがある消防少年団の事を書きます。町田消防少年団は、小学1年生より中学生まで合計71名います。恒例の歩行訓練、今年は町田消防署長、同消防団長、少年団の両親等々合わせて80余名の皆さんが町田のキャンプ場である大地沢より町田消防署まで約30kmを歩きました。大地沢を午前11時に出発し、相原の消防署で昼食をとり、忠生消防署で署員の作ってくれた夕食を食べ、終点の町田消防署迄歩きました。町田消防署には午後5時30分に無事到着しました。今年は小学1年生が3名いましたが、元気よく歩き、又遅れると小走りして夕食でもおかわりするほどでした。3か月前までは幼稚園児だった1年生の身体と精神の強さに感心すると同時に驚嘆しました。皆様歩けますか？生テレビの100kmも感心しますが、何と云っても3か月前は幼稚園児だった子供が文句も言わず30km歩きとおした、その精神力に感心するばかりでした。8月初旬、この消防少年団が山中湖で2泊3日のキャンプを浅草の消防少年団と合同で行い、私も陣中見舞いに行き活動の様子を見ました。浅草の少年団と町田の少年団とでは、内面的には小学生と高校生くらいの違いが見られ、大変嬉しく思い、町田の消防少年団は東京消防庁管内で最も優れている、と良い気持ちで山中湖より帰ってきました。さて本項のタイトル「初老の戯言」ですが、「初老」は私にとっては既に10年も前の事でしょとのクレームがついたので、今回より「老人のひとり言」にします。